

活動報告

2015年11月5日付号

日本共産党
前市議員

とがし豊

皆様のご意見をお寄せください！発行・日本共産党京都左京地区委員会 電話・761-6341(自宅Tel771-7847)



日誌

【10月】1日大西市議が認定 NPO 法人から資金横領した問題を究明する市民団体の報告集会／3日糺ノ森未来の会主催の下鴨神社マンション・大倉庫建設問題での住民集会／4日各地の運動会挨拶まわり／6日「京都から変える、今 憲法市長」本田久美子さんを応援する市民集会／11日川東学区運動会(体振委員として)／12日戦争法廃止を求める左京の会学習決起集会／13日党錦林学区後援会日帰りバスツアー／15日党左京議員団そろい踏み宣伝(熊野神社前)／18日京都バラ展／19日戦争法は今すぐ廃止！左京デモ／20日左京南部まちづくり世話人会／23日本田久美子さんを囲む左京要求懇談会／24日日中友好協会「望郷の鐘」上映会／25日川東学区4町内防災訓練(消防団員として)／26日本田久美子さんと左京一円で宣伝／27日だん王保育園親子遠足／28日新婦人左京支部と懇談／30日左京消防団ボーリング大会

新洞小跡地を民間に渡すな！

市長は今年六月「学校跡地の長期・全面的な活用に関する提案の募集要項」を発表し、最大六〇年間に渡り民間企業に貸し出す方向に舵を切りました。それらは約百四十年前に住民がお金と土地を出し合っ作った番組小学校跡。新洞小学校も対象とされました。これを聞いたある方は「そんなことは絶対に認められない。学校は住民のものだ。これまで通り使い続けられるようにすべき」と語っておられました。我が子の通うだん王保育園でも、毎年生活発表会を新洞小学校講堂で行っています。民間にわたればできなくなります。断固阻止！



本田久美子市長予定候補と宣伝 (10/26)



沖縄基地予定地・大浦湾の生き物たちの写真展@ゼスト御池で主催者と 10/15



党吉田・三錦後援会の「御在所岳日帰りバスツアー」全員で「安倍政治を許さない！」を掲げ記念撮影

率直に言って、市長側のあまりに異常な対応の背景に、ユネスコ世界遺産センターの調査が本格的に入る前に守るべき森を壊してしまうという意図があったのではと疑わざるを得ません。市長を変え、世界遺産を多くかかえる都市にふさわしい糺ノ森保存支援や文化財保護策の充実を図ることが事態を打開する道です。私も引き続き、全力で住民の皆さんと力を合わせ頑張ります。

世界遺産 下鴨神社・糺ノ森の中にマンションを建設する問題を巡って、ついにユネスコ世界遺産センターが調査を開始しました(九月二十九日付書簡)。しかし、今の市長さんは下鴨神社に限らず、二条城でも樹木大量伐採、仁和寺前での竹林大量伐採とガソリンスタンド建設の許可など、世界遺産を守る姿勢が全くありません。むしろ、大阪や東京の大手資本

の目先の利益のために手を貸している状況です。**下鴨神社では、市長側が「違法開発」追認を画策**
下鴨神社マンション予定地前。一〇月十九日、深夜にもかかわらず二〇人以上の住民が抗議する中、施工業者竹中工務店(事業主は「R 西日本不動産開発」)は大型重機の搬入を断念しました。

市の風致許可では「宅地開発」「木竹伐採」は十二月一日からとされているにもかかわらず、その後も次々と選定・伐採や宅地造成と思われる工事が進められ、地域住民に衝撃が走りました。住民側の問い合わせに、市長側は合法的ではない事態を認めましたが、工事中止や原状回復を指示せず、「業者に変更申請を出させて許可を出す」と通告してきました。

月一日からとされているにもかかわらず、その後も次々と選定・伐採や宅地造成と思われる工事が進められ、地域住民に衝撃が走りました。住民側の問い合わせに、市長側は合法的ではない事態を認めましたが、工事中止や原状回復を指示せず、「業者に変更申請を出させて許可を出す」と通告してきました。

住民の怒りの申し入れで違法工事を凍結に追い込む

一〇月二十八日、地元住民団

市長を変え、本田市長実現で公正な市政を取り戻そう

体「糺の森未来の会」が、市長に対し、工事は風致許可に違反しており世界遺産センターが調査開始した状況での工事強行は認められないと正式に申し立て。市担当者現地調査を約束し、その後、工事を凍結状態に追い込みました。

雑記帳・娘の針仕事

最近、針仕事に目覚めた長女(五歳)。保育園にもっていく六枚の雑巾のうち一枚は自分が縫うと宣言し、一生懸命仕上げてくださいましたが、最後に止める行程は父母に振ってきませんが、針の使い方はなかなかです。妹や弟たちが近づいてくると「小さい子は危ないし近寄らんといて」と。裁縫箱のまち針を指して「アリエッティ(アニメの登場人物)が使っていたやつと一緒やで！」と大興奮。おばあちゃんにくれた洋梨を包丁で切るのは姉妹で協力してやってくれました。言った通りに安全上のルールを守りながら上手に切っていました。来年から小学生。一人で小学校まで毎日通えるのか心配でたまりませんが、こうやって一歩ずつ大人になっていくのかと思うと少し安心です。我が子はもちろん、すべての子どもたちが健やかに成長できるように、豊かな子ども時代を提供する責任が大人にはあると思います。子どもも未来局創設かかげる本田久美子さんを市長に押し上げ、ぜひ、その責任を果たしたい。